

## 生活科学科 福祉こども専攻の三つの方針

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生活科学科福祉こども専攻は、教養科目と専門科目を合計して62単位以上を修得し、以下の【学習成果】を獲得したと認められる者について、卒業を認定するとともに短期大学士(こども保育)の学位を授与する。

#### 【学習成果】

##### <知識・技能>

- 1 建学の精神を理解している。
- 2 保育者として求められる専門的知識・技術を修得している。
- 3 保育者になるために、社会人として必要な教養を修得している。

##### <思考力・判断力・表現力>

- 4 こどもや家庭及び地域について理解し、保育実践から学ぶ姿勢を身につけている。

##### <主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 5 保育に必要なコミュニケーション力を身につけている。
- 6 保育者として多様な人々と協働する必要性を理解できる。
- 7 「子どもの最善の利益」を考え続けることができる。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

##### <知識・技能> ・ <思考力・判断力・表現力>

- 1 建学の精神を理解する科目を編成する。
- 2 保育の本質、保育の内容・方法、保育の表現技術に関する知識と技術を修得する科目を編成する。
- 3 こどもの発達の特性と発達過程についての知識を修得する科目を編成する。
- 4 こどもの生活習慣についての知識と技術を修得する科目を編成する。
- 5 保育の現場（幼稚園、保育所、施設など）や家庭を理解する科目を編成する。
- 6 教職・教育課程の意義、各教科の指導法、教育の方法の知識と技術を修得する科目を編成する。

##### <主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 7 保育者に必要な感性、協調性、主体性を培う科目を編成する。
- 8 多様な人々と関わりながら協働し、課題を解決できるようになる科目を編成する。
- 9 家庭や地域と連携をし、「子どもの最善の利益」を考え続けることができるようになる科目を編成する。

## 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### <知識・技能> <思考力・判断力・表現力>

- 1 建学の精神を理解しようとする意欲のある人。
- 2 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識及び課題に取り組む技術を有している人。
- 3 問題、課題に対し、自らが持つ知識、教養を用いて思考し、主体的に判断をして、問題、課題に取り組める人。

### <主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 4 保育について学ぶ強い意志を持つ人。
- 5 思いやりの心を持ち、チームで協働できる人。
- 6 こどもの育ちを大切に考え、問題意識を持って行動できる人。